

2010年度 道北支部地域包括支援センター「評価シート」研修会 報告

- 1 日時 平成22年9月10日(金) 10:00~16:30
2 場所 旭川市民文化会館 第2会議室
3 参加者 6名(行政職2名、保健師1名、社会福祉士3名)

4 内容 1)開会

2)講義「地域包括支援センター評価シート」の開発経緯と概要について
中央・新旭川地域包括支援センター 松林邦昭

3)DVD視聴「評価シートを活用した支援の具体的展開例」

4)演習

- ・業務をどのように行っているのかを評価シートで自己評価し振り返り、それを支援者と確認する作業を通して「気づき」を得て、実践の質を高めることを目的とした演習。
- ・4人一組のグループで「対面方式」にて実施。評価対象者、主支援者、副支援者、観察者の役割分担を行い4名全員が全役割を実施できるよう展開した。

5)閉会(意見交換・参加者の感想)

- ・参加できてよかった。少人数での研修になったのでじっくりと取り組めて得した気分だった。
- ・(保健師の方から)社会福祉士用に開発された評価シートと聞いて、「私たちがやっても意味ないかなあ」と思っていたが、共有できる部分もあり活用できると感じた。「社会福祉士評価シート」という名称を変えて他職種にも広めてはどうか。
- ・業務の評価をしながら、実は面接技術の向上も図れたという感覚で得した気分になった。
- ・相手の気づきを促すための質問力を向上させたいと思った。日常の相談業務や会議の場面でも活用できる技術も学ぶことができた。

文責:松林